

⑱ そり・スノーチューブ



(活動時間の目安：特になし)

概要	そりやスノーチューブに乗って積雪の斜面を滑り下りる活動プログラムです。		
ねらい	体力の向上を図ることができます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。		
条件	対象	幼児～	人数
	時期	1月～3月（積雪時）	実施判断
			そり（小56台、大20台） スノーチューブ（ドーナツ型10台、三角型10台）
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）	個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> そり（要事前確認） <input type="checkbox"/> スノーチューブ（要事前確認） <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き）	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> 防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル
引率者の役割	団体責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・実施判断・中断の決定をします。 ・交流の家職員から安全に活動するための説明を聞きます。 ・安全の確保のために引率者のコース配置を指示します。 	
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・コースの試走をし、滑り始め及び最終停止位置で指示をします。 	
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。	
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 ・返却物品の個数と破損の有無の確認をします。 		
活動の流れ	<p>【活動前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体責任者は交流の家職員に物品の返却方法を確認して、指導の手引きを受け取り、指導の手引きをもとに引率者のコース上の配置を決めます。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は活動開始前にコースの試走をします。滑り始めと最終停止位置を決定し、活動を開始します。 ・グループ責任者は参加者に安全面について指導を行い、コース上で参加者に指示をします。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。 		
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○滑走場所と登る場所を明確に分けて、一方通行を徹底してください。 ○そりは足をそり内に入れ、ドーナツ型のチューブはおしりを中心の穴に入れて活動してください。三角型のチューブはうつ伏せで使用します。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 		